

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(2年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
山形県	川西町	犬川地区	28	30	川西町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)	
必須 目標	① 経営面積の拡大			
	② 農業の6次産業化	0 0	0 0	1 -
	③ 農産物の高付加価値化	1 1	1 0	1 0.0
	④ 経営コストの縮減			
選択 目標	⑤ 耕作放棄地の解消			
	⑥ 農業経営の複合化			
	⑦ 輸出			
	⑧ 農業経営の法人化			
	⑨ 雇用			

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)	実績を確認した 資料名等	
				1年度目	2年度目	3年度目			
1		農業の6次産業化 (外食産業への出荷契約数)					-	-	
		農産物の高付加価値化 (1等米比率の向上:%)					-290.0	検査伝票	
		参考 (任意)	販売価格(円/10a)						
			生産コスト(円/10a)						
		経営コスト(円/10a)							

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

農業の6次産業化については3年度目に達成予定。
 農産物の高付加価値化(1等米比率向上)については、土地改良を実施したほ場(約1ha)で2等米となり、目標達成とならなかった。目標達成に向け、肥培管理及び生育状況のきめ細やかな管理を実施するよう対象経営体へ指導を行う。

〔記入要領〕

1 「現状」「目標」欄は、経営体育成支援計画書(以下「支援計画」という。)及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。

I 及び II の「達成状況」欄の上段は、支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 II の対象経営体の成果目標に関する達成状況は、支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

II の経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする。

(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

参考欄については、

販売価格＝主な作物の10a当たり販売価格又は農業粗収益を記入する。

生産コスト＝主な作物の10a当たり生産費を記入する。

経営コスト＝10a当たり農業経営費を記入する。

3 III の達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合にはその要因を把握した上で、達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。

また、目標年度において目標を達成していない場合は、別途、別紙様式1-11号により、経営体毎に未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。

経営体育成支援事業目標達成状況報告書(2年度目)

都道府県名	市町村名	地区名	事業実施年度	目標年度	事業実施主体
山形県	川西町	吉島地区	28	30	川西町

I 地区の成果目標

(単位:経営体、%)

項目	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)	
	1年度目	2年度目	目標年度 (3年度目)		
必須 目標	① 経営面積の拡大	1 1	1 1	1 1	100.0
	② 農業の6次産業化				
	③ 農産物の高付加価値化				
	④ 経営コストの縮減	1 1	1 1	1 1	100.0
選択 目標	⑤ 耕作放棄地の解消				
	⑥ 農業経営の複合化				
	⑦ 輸出				
	⑧ 農業経営の法人化				
	⑨ 雇用				

II 経営体の成果目標

No	対象経営体名	項目	現状	目標 達成状況(上段:計画、下段:実績)			2年度目 達成状況 (%)	実績を確認した 資料名等	
				1年度目	2年度目	3年度目			
1		経営面積の拡大(ha) (水稲+作業受託面積)					158.4	水稲共済細目書	
		経営コストの縮減(円/10a)					1851.6	決算書(水田作のみ)	
		参考 (任意)	販売価格(円/10a)						
			生産コスト(円/10a)						
		経営コスト(円/10a)							

III 達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)

<p>各項目とも目標を達成している。</p>

〔記入要領〕

1 「現状」「目標」欄は、経営体育成支援計画書(以下「支援計画」という。)及び経営体調書の成果目標の「現状」「目標年度」欄の内容を記入する。

I及びIIの「達成状況」欄の上段は、支援計画及び経営体調書にある計画を記入し、下段は、当該年度の実績を記載し、「〇年度目の達成状況(%)」欄はその年度の計画に対する達成状況を記入する。

2 IIの対象経営体の成果目標に関する達成状況は、支援計画の添付資料である経営体調書に掲げた経営体の成果目標の項目について、対象経営体毎に記入する。なお、記入欄は対象経営体数等に応じて適宜挿入すること。

IIの経営体の成果目標達成状況の達成率は、(実績-現状)/(年度計画-現状)×100により求めるものとする。

(小数第2位は切り捨て、小数第1位まで記入する。)

参考欄については、

販売価格＝主な作物の10a当たり販売価格又は農業粗収益を記入する。

生産コスト＝主な作物の10a当たり生産費を記入する。

経営コスト＝10a当たり農業経営費を記入する。

3 IIIの達成状況に関する事業実施主体の所見(評価)欄は、成果目標の達成状況を勘案して記入するものとし、達成に立ち遅れがある場合にはその要因を把握した上で、達成に向けた具体的な取り組み内容を記入すること。

また、目標年度において目標を達成していない場合は、別途、別紙様式1-11号により、経営体毎に未達成となった理由を整理し、目標達成に向けた具体的な改善措置及び達成見込時期等を記入するとともに、地域への影響等と構造政策を進めるための今後の取組方向を記入する。